

I 全国・東北の景気動向

1. 業況判断D I の推移（中小企業・小企業）

①全業種計

	20.7-9	20.10-12	21.1-3 見通し
中小企業	▲52.0	▲42.6	▲30.1
小企業	▲63.3	▲55.9	▲66.2

②製造業

	20.10-12	21.1-3 見通し
中小企業	▲47.1	▲30.4
小企業	▲61.0	▲68.8

③非製造業

	20.10-12	21.1-3 見通し
中小企業	▲39.9	▲29.9
小企業	▲55.0	▲65.8

資料：(株)日本政策金融公庫

2. 業種別業況判断D I の推移（小企業）

※（1-3 については見通し）

① 卸売業

20.7-9	20.10-12	21.1-3
▲65.1	▲51.9	▲63.8

②小売業

20.7-9	20.10-12	21.1-3
▲61.0	▲55.4	▲67.5

③飲食店・宿泊業

20.7-9	20.10-12	21.1-3
▲78.9	▲76.4	▲85.6

④サービス業

20.7-9	20.10-12	21.1-3
▲63.1	▲58.6	▲66.4

⑤情報通信業

20.7-9	20.10-12	21.1-3
▲58.6	▲45.7	▲47.9

⑥建設業

20.7-9	20.10-12	21.1-3
▲32.9	▲21.8	▲38.6

⑦運輸業

20.7-9	20.10-12	21.1-3
▲71.6	▲65.3	▲68.2

資料：(株)日本政策金融公庫

3. 東北業況判断D I の推移（小企業）

20.7-9	20.10-12	21.1-3 見通し
▲58.7	▲52.5	▲65.8

資料：(株)日本政策金融公庫

※業況判断D I

景気が良いと答えた企業の割合から、悪いと答えた企業の割合を引いた数値。

- 小企業の景況は、全ての業種で2020年7-9月期に比べ10-12月期でマイナス幅が縮小したものの、1-3月期はマイナス幅が拡大する見通しとなっている。中小企業は製造業、非製造業ともに2020年4-6月期からマイナス幅が縮小して来ており、中小企業と小企業とで差が表れてきている。地域別に見ても全国的に小企業の1-3月期はマイナス幅が拡大する見込みであるのに対し、中小企業は全ての地域でマイナス幅が縮小する見込みとなっている。

II 宮城県内の景気動向

- ・調査時点 2020年12月中旬
- ・調査対象 142企業
- ・有効回答数 104企業
- ・有効回答率 73.2%

<業種構成>

	調査対象	有効回答数
製造業	15企業	15企業
卸売業	19企業	15企業
小売業	36企業	25企業
飲食店・宿泊業	15企業	12企業
サービス業	33企業	19企業
情報通信業	2企業	2企業
建設業	18企業	12企業
運輸業	4企業	4企業

資料：(株)日本政策金融公庫

1. 業況判断D I の推移（全業種計）

	20.7-9	20.10-12	21.1-3 見通し
宮城県	▲68.9	▲65.4	▲71.2
全国	▲63.3	▲55.9	▲66.2

資料：(株)日本政策金融公庫

○今期の業況判断D I（全業種計）は、前回調査に比べてマイナス幅が3.5ポイント縮小し、▲65.4となった。来期（1-3月期）については、マイナス幅が拡大し▲71.2となる見込みである。

○業種別にみると、製造業（▲71.4→▲66.7）、非製造業（▲68.5→▲65.2）ともにマイナス幅が縮小したが、非製造業を構成する大分類業種のうち、飲食店・宿泊業（▲80.0→▲91.7）、建設業（▲35.7→▲58.3）ではマイナス幅が拡大した。

なお、来期（1-3月期）は建設業のみマイナス幅が縮小、それ以外の業種はマイナス幅が拡大または横ばいとなる見込みである。

2. 業況判断D I の推移（業種別）

※（21.1-3 については見通し）

①製造業

20.7-9	20.10-12	21.1-3
▲71.4	▲66.7	▲73.3

②非製造業

20.7-9	20.10-12	21.1-3
▲68.5	▲65.2	▲70.8

③卸売業

20.7-9	20.10-12	21.1-3
▲63.2	▲46.7	▲66.7

④小売業

20.7-9	20.10-12	21.1-3
▲78.6	▲64.0	▲76.0

⑤飲食店・宿泊業

20.7-9	20.10-12	21.1-3
▲80.0	▲91.7	▲91.7

⑥サービス業

20.7-9	20.10-12	21.1-3
▲64.0	▲63.2	▲68.4

⑦建設業

20.7-9	20.10-12	21.1-3
▲35.7	▲58.3	▲33.3

資料：(株)日本政策金融公庫

3. 売上D I の推移（全業種計）

	20.7-9	20.10-12	21.1-3 見通し
宮城県	▲58.8	▲69.3	▲66.0
全 国	▲65.8	▲59.3	▲67.4

資料：(株)日本政策金融公庫

○今期の売上D I（全業種計）は、前回調査からマイナス幅が10.5ポイント拡大し、▲69.3となった。

○来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。

4. 採算D I の推移（全業種計）

	20.7-9	20.10-12	21.1-3 見通し
宮城県	▲21.9	▲26.2	▲27.4
全 国	▲11.2	▲12.3	▲11.6

資料：(株)日本政策金融公庫

○今期の採算D I（全業種計）は、前回調査からマイナス幅が 4.3 ポイント拡大し、▲26.2 となった。

○来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。

5. 資金繰りD I、借入D I の推移（全業種計）

	20.7-9	20.10-12	21.1-3 見通し
資金繰り DI（宮城県）	▲29.3	▲33.0	▲56.3
借 入 DI（宮城県）	7.7	0.0	—
資金繰り DI（全国）	▲22.4	▲24.8	▲46.1
借 入 DI（全国）	6.1	▲6.4	—

資料：(株)日本政策金融公庫

○今期の資金繰りD I（全業種計）は、前回調査からマイナス幅が 3.7 ポイント拡大し▲33.0 となった。来期もマイナス幅が拡大する見通しである。

○民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入D Iは、前回調査から 7.7 ポイント低下し、0.0 となった。

6. 経営上の問題点の推移（全業種計、上位 4 項目）

	20.4-6	20.7-9	20.10-12
売 上 不 振	65.7	59.0	60.8
利 益 減 少	18.1	21.3	18.6
求 人 難	6.7	9.8	11.8
設備老朽化等	0.0	2.5	2.9

資料：(株)日本政策金融公庫

○当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が 60.8%と依然として最も多く、次いで「利益減少」（18.6%）、「求人難」（11.8%）の順となっている。

7. 設備投資実施企業割合の推移（全業種計）

	20.4-6	20.7-9	20.10-12
宮 城 県	8.7	9.9	10.7
前年同期実績との差	3.5	3.4	-1.8
全 国	11.4	15.3	15.8

資料：(株)日本政策金融公庫

○設備投資実施企業割合（全業種計）をみると、前回調査から0.8ポイント上昇し、10.7%となった。

Ⅲ 利府町、松島町 観光客入込数・宿泊観光客数

1. 観光客入込数

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利府町	2,119,333	1,578,849	1,495,313	1,679,551	1,597,778
松島町	2,809,753	2,768,840	2,746,785	3,054,759	2,981,516

資料：利府町産業振興課商工観光班、(一社)松島観光協会

2. 宿泊観光客数

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利府町	22,179	26,487	25,987	24,665	24,253
松島町	642,277	643,331	609,156	600,052	569,645

資料：利府町産業振興課商工観光班、(一社)松島観光協会

参考

松島町 観光客入込数・宿泊観光客数 (令和 2 年)

	令和 2 年
観光客入込数	1,607,172
宿泊観光客数	340,361

資料：(一社)松島観光協会

利府町 観光客入込数・宿泊観光客数 (令和 2 年)

	令和 2 年
観光客入込数	736,635
宿泊観光客数	6,652

資料：利府町産業振興課商工観光班